

平成27年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

資料 7-2

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、豊栄図書館・松浜図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：豊栄図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価			
				自己評価	外部評価		
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目	課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・所蔵調査件数を含めて、レファレンス件数は減少となった。	・豊栄図書館では夏休み期間中に職員を配置して、「子どもの本のへや」のサービス充実を図った。主に自由研究に関するレファレンス(調査・相談)で、8月中旬からは読書感想文に関するレファレンスも増えた。夏休みの宿題にチャレンジしている親子連れからの問い合わせも多く、夏休み期間中の児童へのサービス充実は概ね好評であった。	3 大変評価する。	100.0%	・図書館を利用する人数に応じて対応している様子を見て、よくやっていると感じる。 ・市民の要望を的確にとらえ、ニーズに合わせていける体制は素晴らしい。 ・夏休み期間中のサービスの充実は大変重要だと思う。職員自身の夏休みの兼ね合いもあり、苦労も多いと思うが今後も実施することを望む。 ・専門性のある関わりをしてくれる図書館への期待は大きい。ますます、必要とされる館であるように思う。
	◆館の重点評価項目	多様な利用に応じた図書館サービスの提供	・松浜図書館では、北地区公民館主催ひゅーまんライブセミナー「公開講座 新潟水俣病と人権」へ図書館資料の提供(資料展示と貸出)を行った。セミナー参加者は19名で、講座終了後、数名の受講者が資料を閲覧していた。資料の貸出は3冊だった。	・資料展示、貸出の他に水俣病関連図書リストを作成し、受講者に配布した。講座は病気の原因、被害状況、患者差別の実態などわかりやすい内容で、そこからもう少し新潟水俣病を知りたいという受講者に資料を提供できた。 ・新潟水俣病の被害、差別についてはまだ課題が残っている中で、この講座へ資料を提供できたことは「課題解決型図書館」をささやかながら実践できた。	3 大変評価する。	66.7%	・長い年月の公害(水俣病)にもっとも関心が拡がればよいと思う。大変な努力が必要だが続けてもらいたい。 ・様々な地区の催物に合わせ、新たな必要性が生まれてくるが受け身ではどういったニーズになるか把握しづらい。その点、公民館の一つの催物に焦点化すると、どんな資料が必要なのか予想でき対症処方スルムスにできる。正に攻めの図書館と思われる。 ・新潟水俣病について知ることは、この地域の住民にとって大切なことだと考える。今後も関連資料の収集に努め、公民館等とも連携して啓発力を入れてほしい。 ・新潟水俣病資料館との協力体制や協働はどのようにしているのか知りたい。
特色ある地域づくり図書館	◇全館共通評価項目	地域資料の体系的な収集と活用	・北区を中心とした郷土資料、行政資料の収集に努める。豊栄図書館では福島潟関連資料、松浜図書館では水俣病(熊本含む)関連資料の収集に力を入れている。 平成25年度蔵書冊数 10,887冊 平成26年度蔵書冊数 11,023冊 平成27年度蔵書冊数 11,299冊	・北区を中心とした郷土資料、行政資料の収集に努め、着実に蔵書冊数を増やしている。また、それにつれて貸出冊数も徐々に上向いている。今後も北区民にとって魅力的な資料の収集に努めたい。 ・寄贈資料については学校に提供できるように冊数を多く収集した。 ・積極的に公的機関のパンフレット、計画を収集した。	3 大変評価する。	66.7%	・民俗調査や地方振興のため日本列島を地球4周分歩いて回ったという宮本常一氏の例もある。郷土史の研究は欠かせないものである。 ・濁川地区も地名から分かるように水との戦いの歴史がある。その資料も是非集めて欲しい。濁川地区の住民の図書館の活用が多くなると思われる。
	◆館の重点評価項目	地域の声を反映した図書館運営	・図書館協議会を年2回開催 第1回(平成27年7月29日) 第2回(平成28年3月7日)	・図書館職員が見過ごしてしまいがちな利用者目線でご意見をいただくことができた。 ○図書館に小さい子を連れて行くのがためらわれる ○高齢者向けの企画で登録者増、利用アップを ○子育て支援センターの先生・保護者に絵本講座のニーズあり等	3 大変評価する。	66.7%	・地域の声や意見を聞く機会になっていると思う。 ・素晴らしい図書館があり、活発な活動、事業展開をしていることがよく分かる。 ・協議会では多岐に渡る意見が出ており、図書館の枠を超えた内容を、今後事業に取り上げていく方法をさらに考えるべきではないか。
子ども社会読書融合型図書館	◇全館共通評価項目	子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業 485人に実施、参加率92.2% ・ブックスタートアンケートを3歳児健診会場 8月から10月の3か月間実施し、対象者142人から回答を得た。市内全体のアンケートの結果では「ブックスタートが子どもに絵本を読んでもよかった」という回答が66%あった。	・ブックスタートが乳幼児期の読書活動の働きかけとして、大きな役割を果たしていることが確認できた。 ・一方で図書館を利用する親子は33%にとどまった。今後も「赤ちゃんタイム」など、子育て世代が気軽に利用できるようPRを継続する。 ・ブックスタート待ち時間における貸出カード作成業務の試行。	3 大変評価する。	100.0%	・まだ小さい子どもをお持ちのお母さん方は、図書館は静かにしてはいけない場所と思っている方が多いように思う。現実には静かにしてはいけない、もう少しなんとなかなかならぬかと思う。 ・3歳児健診を利用するのは素晴らしいアイデアだと思う。 ・アンケートで事業の効果が検証されたことは大変良かったと思う。 ・ブックスタートが親子の絵本への関心を深めるためのよい事業になっていることが分かる。1歳で青体があける人が多いので早い対応がよい。 ・子どもの成長に常に寄り添う読み聞かせ活動が出来ると思う。 ・大いに評価でき、今後も明るい期待が持てる。更なる努力を進めてほしい。
	◆館の重点評価項目	学校図書館支援センターによる学校図書館訪問、及び業務相談等の実施。 ・おはなしのじかん(職員・ボランティア)、わらべうたのじかん、夏休み事業の実施。 ・学校図書館支援センターが、学校・地域・関係機関と連携し、学校図書館の活用が更に活性化されるよう取組みを進める。 ・学校図書館支援センター事業 ・子どもの読書活動につながる事業等の実施	・学校図書館訪問や校長会での説明を重ね、学校全体での学校図書館運営を呼びかけ、活用が広がった。 ・学校司書と教諭の連携を図る研修を行うことにより、学校図書館の活性化を促進することができた。 ・おはなしのじかん(職員)参加者556人 ・おはなしのじかん(ボランティア)参加者291人 ・わらべうたのじかん 参加者105人 ・夏休み事業 ベトボトルでエコマイクをつくろう 参加者11人 1日こども図書館員 参加者8人 ・豊栄幼児ことばの相談室・言語聴覚士の紹介とともに、豊栄図書館の「子育て応援コーナー」に「ことばの相談室通信」が配架されていることが新潟日報に取り上げられた。掲載後、問い合わせが多数あった。	3 大変評価する。	77.8%	・「学校司書に図書館運営、図書選定の権限を拡大をする」ことなどアメリカの司書を例にした講演を聞いたことがある。 ・手間のかかることかもしれないがきっと子どもの心の残ることだろう。 ・アイデアを生かした積極的な取り組みが多いことに感謝する。 ・学校図書館支援センターの支援によりとても使いやすく、きれいな学校図書館になっている。生徒の評判も大変良好である。 ・事業の成果が着実に上がっていると思う。今後も努力を期待する。 ・この項目内容は市民にはなかなか理解されていないが、実際には活動が活発で効果が出ていることに驚き、明るい期待が持てた。更に頑張ってもらいたい。	
市民参画型図書館	◇全館共通評価項目	ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	ボランティア団体との協働の取組実施 ・春のおはなしリレー、夏のスペシャルおはなし会、冬のスペシャルおはなし会、おはなしの勉強会、わくわく体験夏まつり、大人のためのおはなし会、クリスマスのおはなし会	ボランティア団体との協働事業は例年参加者から好評を得ている。今後も協力を仰ぎながら継続していきたい。	3 大変評価する。	77.8%	・真の意味の協働になっているか? ・市民との協働は重要なテーマと思う。 ・ボランティアがたくさん活動していることはとても素晴らしい。継続して育成してほしい。 ・図書館の枠を超えた活動の素晴らしさを改めて認識した。今後も継続してほしい。
	◆館の重点評価項目	ボランティア交流会を実施する。	・ボランティア交流会を実施する。 ・ブックスタートボランティアとおはなし(ストーリーテリング)ボランティアの養成講座を実施する。 ・ブックスタートボランティア養成講座 参加者4名 ・ボランティア養成講座「おはなしを語る」参加者9名	・ボランティアと図書館が「おはなしのじかん」など読み聞かせの日程等について意見交換することで、意思疎通ができた。今後も機会を捉えてコミュニケーションを図っていききたい。 ・ブックスタートボランティア養成講座に参加した4人全員が登録をして、ボランティアの層が厚くなった。	3 大変評価する。	88.9%	・ボランティア人材を養成していくことは、世代をつなぐネットワークづくりにとっても重要と感じる。 ・交流会、養成講座、共に成果が上がっていると思う。 ・読み聞かせ、語りの依頼が各学校で高まっているように思う。このような講座は絶やさないように願う。 ・ボランティアの枠をさらに拡大して欲しい。